

陸上日本選手権 男子100メートル

多田 V 初の五輪

約1カ月後に迫る東京五輪の代表選考会を兼ねた陸上の日本選手権は25日、大阪市のヤンマースタジアム長居で男子100メートル決勝が行われ、多田修平(住友電工、関学大出)が10秒15で初優勝。初めての五輪代表入りを決めた。9秒95の日本記録を持つ山県亮太(セイコー)も3位で五輪代表

磨いたスタート「やっと結果」

緊張感漂う男子100メートル決勝。多田は集中力を研ぎ澄ました。東京五輪参加標準記録を突破している5人をはじめ、2017年に追いつめ精銳が集った大一番で、得風参考ながら国内レース日本意のロケットスタートで先頭人初となる電気計時での9秒に立つと、前だけを見て駆け上がった。ようやく手にした日本一の称号。フィニッシュ後は「日本選手権で5位が続くなど苦しい思いをして、やっと自分の納得いく結果を出せて感極まった」と涙を光らせた。原点に戻り、多くの人が上に出るスタートで「浮いている瞬間もつたいたい」と上歩た。終盤は「あまり記憶がないから前へ出る形を追求。天の追い上げを許さなかった。性的瞬発力が生かされ、はじくように飛び出すスタイルを確立した。今月6日の布勢スプリントで10秒01をマークし、自己ベストを4年ぶりに更新して五輪参加標準記録もクリア。調子が上向く中でのこの日を迎える。試合を重ねることにスタートから中盤が良くなって、目標に向かって、加速し続けたいので、自信を持って挑める。」(金山成美)



男子100メートルで初優勝し、右手を掲げて東京五輪代表入りを喜ぶ多田修平。25日夜、大阪市のヤンマースタジアム長居(撮影・中西幸大)

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

なまえ【

とうきょうごりん だいひょうせんこうかい か りくじょう にほんせんしゅけん はつゆうしやう せんしゅ なまえ
① 東京五輪の代表選考会を兼ねた陸上の日本選手権で初優勝した選手の名前と

ゆうしやう か
優勝タイムを書きましょう。

選手 優勝タイム

ごりんだいひょう き ひとり
② 五輪代表に決まったもう一人の選手を書きましょう。 選手

ただ おうえん
③ 多田選手に応援メッセージを書きましょう。